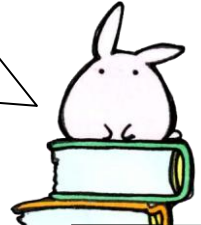


Shono Street


庄内農業高等学校
図書館だより
2013.8.30
No. 5

8月の図書館だよりでは、「新着図書案内」、「各クラス・学年図書貸出状況」、「芥川賞、直木賞の紹介」、「図書視聴覚委員研修会報告」などたくさんお知らせ・紹介がありますのでぜひ読んでくださいね。

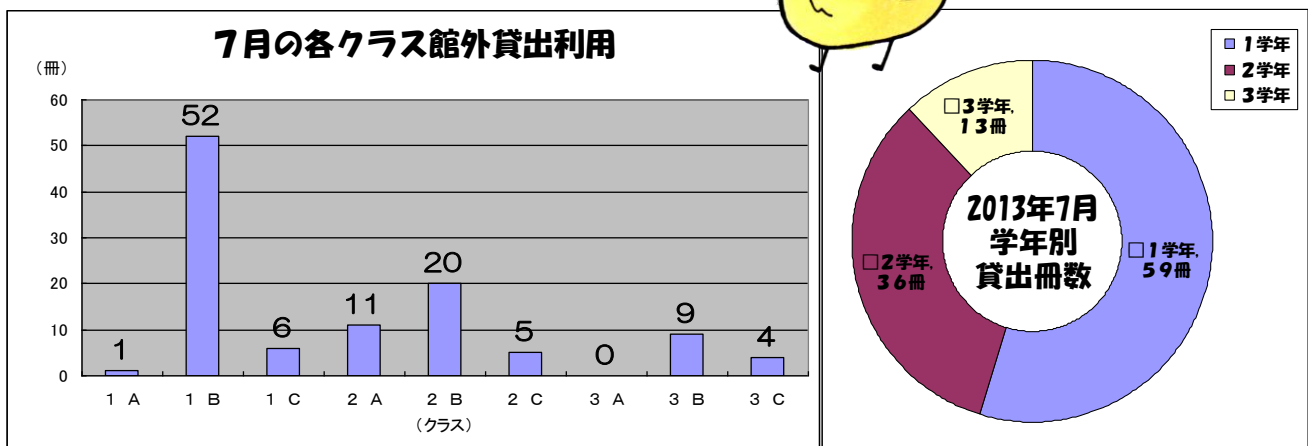


新着図書案内



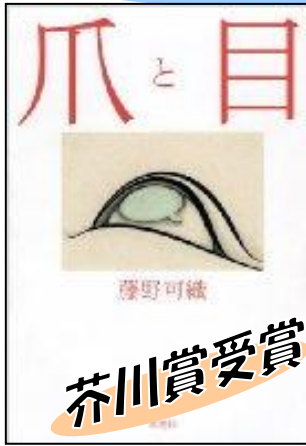
<p>『どがね 古賀常次郎詳伝』 佐保圭 寄贈</p> <p>Wikipedia で日本の発明家として記載されている古賀常次郎は、今から 50 余年前までは、喧嘩に明け暮れ、やがて傷害事件で逮捕され、鑑別所に入ったこともある“札付きの不良”だった。そんな彼がなぜ「大勲章」を授かるほどの人物になれたのか。常次郎の人生を知ることができる 1 冊。</p> 	<p>『日本人の知らない日本語』 貸出禁</p> <p>『和菓子のアンソロジー』</p> <p>『出羽三山信仰と月山筍』 渡辺幸任</p> <p>『うた恋。』 杉田圭 貸出禁</p> <p>『ノーチラス号の冒険 5 海の火』</p> <p>『ノーチラス号の冒険 6 黒い同胞団』</p> <p>『からだにやさしい旬の食材 野菜の本』</p> <p>『自然災害からいのちを守る科学』 川手新一</p>
<p>『ともだちがほしかったこいぬ』 奈良美智</p>	<p>『天気ハカセになろう』 木村龍治</p>

7月の各クラス・各学年 図書貸出状況



7月は、1年生の貸出冊数が最多となり、59冊でした。分類別で見ると、総数のうち文学（小説・エッセイなど）が74冊とダントツでトップとなりました。その後は、技術11冊、芸術7冊と続いています。グラフからは各クラスの貸出利用は1Bが、学年別では1学年が、多く読んでいる結果となりました。個人では、4月から7月末（4ヶ月）で30冊も読んでいる生徒もいます。すごい！

芥川賞・直木賞が決定!



図書館に入りました!

図書館前に関連の新聞記事が貼ってあるので興味のある人はぜひ!

芥川賞・直木賞
って?



芥川賞・・・正式名は、芥川龍之介賞。芥川龍之介の友人・菊池寛が純文学の新人を育成しようと、新人作家の作品を対象に創設したもの。

直木賞・・・正式名は、直木三十五賞。菊池寛が作家直木三十五への友情から創設。大衆文学の発展を願って、新進もしくは無名作家の作品に与えられる賞。

(ポプラディアより)

図書視聴覚委員研修会報告



8月9日、高島町に行ってきました。「浜田広介記念館」ではひろすけの世界を見て聞いて、「高島ワイナリー」では特産品の一つであるワインがどのように作られているのかを知ることができた貴重な体験でした。

感 想

- ・「泣いた赤鬼」の青鬼は、かわいそうだと思います。赤鬼のために旅に出て、住んでいる所も飛び出していたのが優しいと思いました。小学校の頃、「泣いた赤鬼」を聞いた事があったのを思い出しました。(1A・草島達也)
- ・ワインのことについて、どのように造られていくのかが分かった。ワインの保存方法などがあってとても勉強になった。(1B・押切祐季)
- ・ワインの作り方を見学できて、とても良い体験になった。お土産もたくさんあったし、今度買いに行きたい。(1B・五十嵐渚)
- ・工場見学は短時間しか見れなかったけど、ワインができるまでの流れを見ることができました。あと、ワインを造るまでちゃんと、除菌とかしてるところを見れました。(1C・齋藤萌)
- ・たくさんの浜田広介の作品に驚きながら見てまわりました。「泣いた赤鬼」の上映を見て、とても作品がすばらしく良かった。(3C・川井翔)

